

上三川町干びよう推進対策協議会が「ふくべ」を贈呈

7月14日、上三川町干びよう推進対策協議会から、上三川町立学校給食センターに、「ふくべ」130kg(20個)が贈呈されました。

これは、本町の伝統特産物である「ふくべ」を学校給食に提供し、子供達に食育の推進や地産地消の大切さを伝えることを目的として実施されています。

贈呈された「ふくべ」は、翌日の給食で味噌汁としておいしくいただきました。



海老原会長 氷室教育長



学校給食の様子

上三川ふれあいの家ひまわりで人形劇の公演が行われました。

6月29日、上三川ふれあいの家ひまわりにて日産労連NPOセンター「ゆうらいふ21」による「さるかに合戦」をアレンジした「サルかに」の公演を行いました。

劇中、サルやかにの呼びかけに応じる形で施設利用者が拍手を送るなどして楽しみました。

「ゆうらいふ21」は日産自動車労働組合の 組合員から集めた「福祉基金」で運営し、福祉施設に劇団を派遣しているほか、車両の寄贈などを行っています。



サルかに公演の様子

未来につながる持続可能な農業推進コンクール受賞

農林水産省が主催する令和2年度未来につながる持続可能な農業推進コンクールにおいて、上三川町の鞘堂を拠点に活動する特定非営利活動法人民間稲作研究所が関東農政局長賞を受賞しました。

これは、有機農業をはじめとする環境保全型農業の取組を通じて、環境負荷低減や生物多様性など環境の保全等に顕著な成果を上げ、国内外の有機稲作栽培技術の向上と普及拡大に貢献したことで表彰されました。



特定非営利活動法人民間稲作研究所の皆さん

お揃いのエプロンで楽しくボランティア

地区社会福祉協議会では、一人暮らしや見守りの必要な高齢者等のお宅に、手作りしたお弁当を届ける食事サービスボランティアを行っています。この他にも様々なボランティアを行っており、活動を通じて地域での助け合い・支え合いに貢献されています。



本郷北小学校地区社協の皆さん